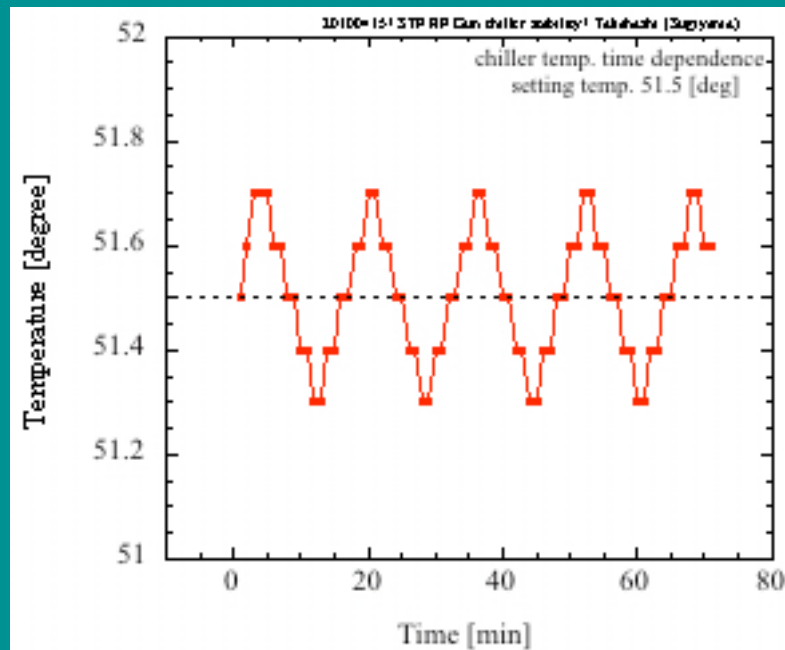


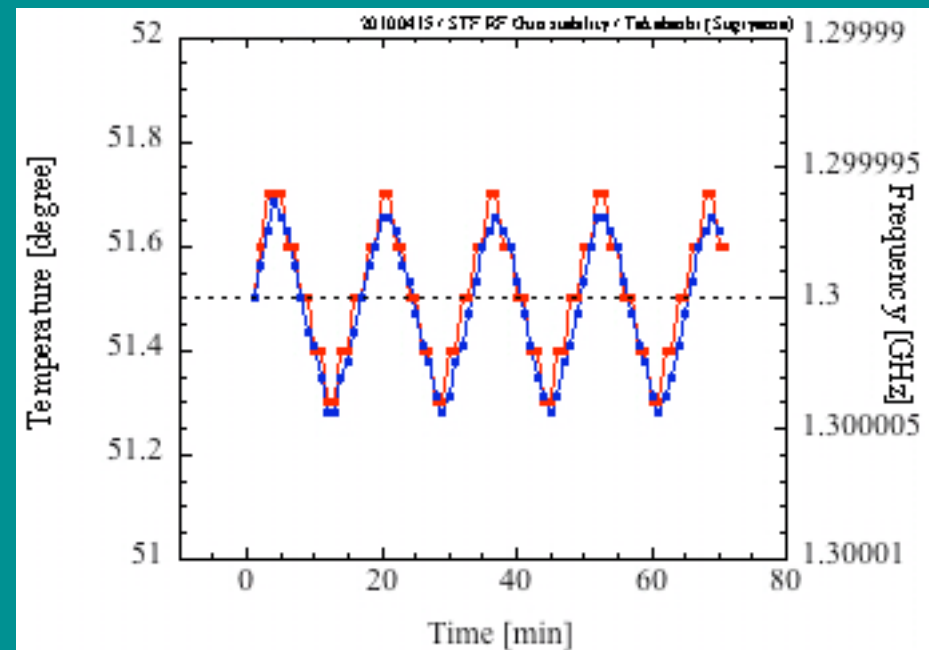
空洞の現状報告



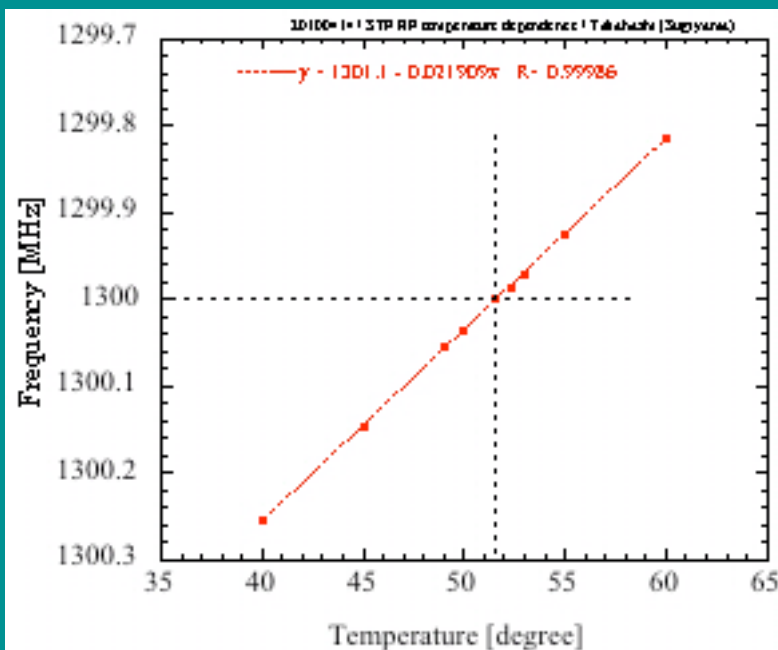
2010/05/14・LバンドRF銃の会議
杉山 陽栄



チラー温度 $\pm 0.2^{\circ}\text{C}$



温度と周波数



$-22\text{kHz}/1^{\circ}\text{C}$

2009年4月の柏木さんの
チューニング時に仮定した通り

1300MHzは 51.5°C 付近

$\beta = 0.98$, $Q_L = 10317$, $Q_0 = 20467$

柏木さんのチューニング時、
スペーサ調整時とズレはなし

4/16からRFプロセスを開始（カソードは本番用が入っている）

・ 20 μ sec/5Hz（total 18時間）

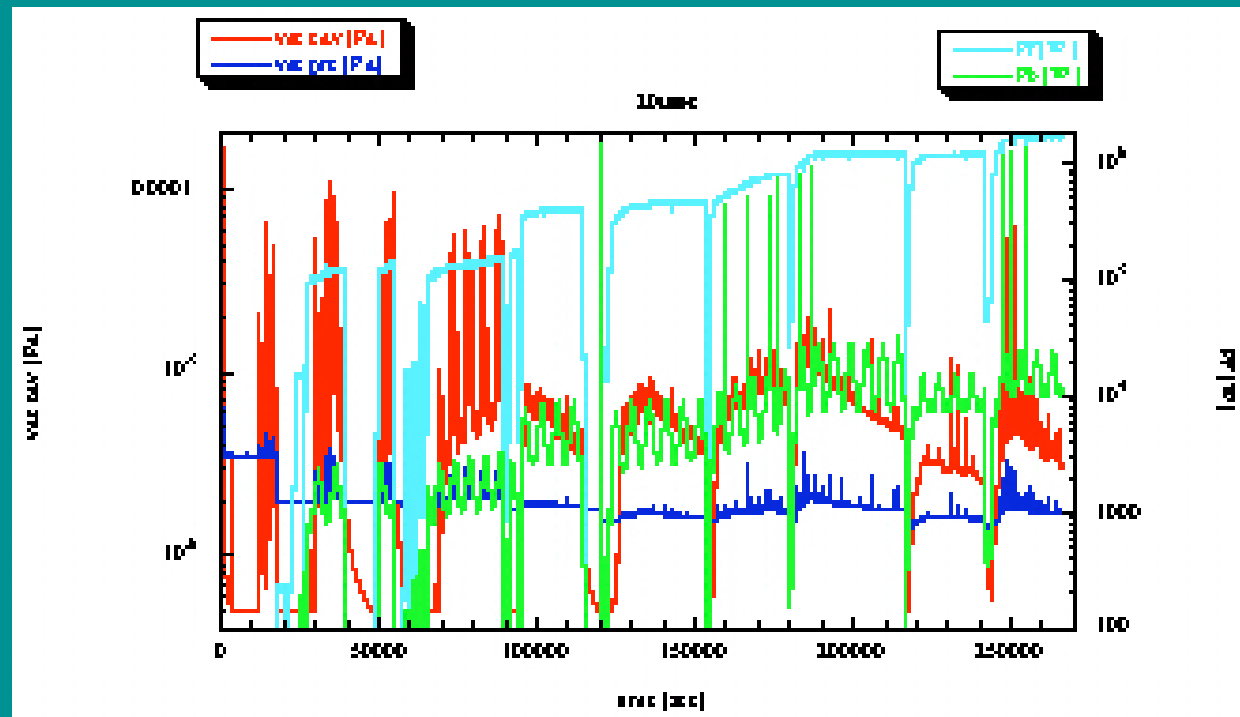
4/16：100kWまで

20-21：400kWまで

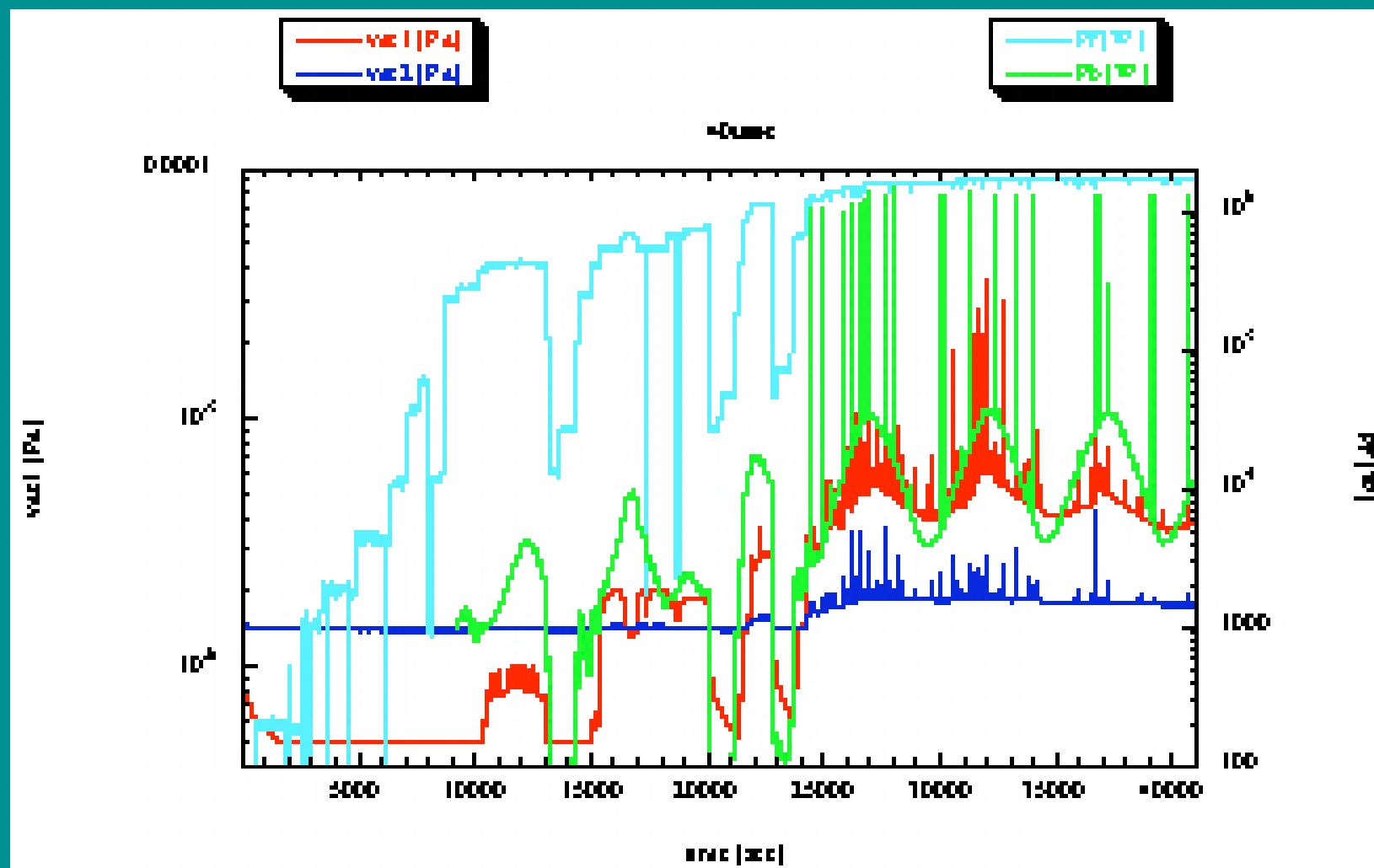
21：400kW

22：1.2MWまで

23：1.7MWまで

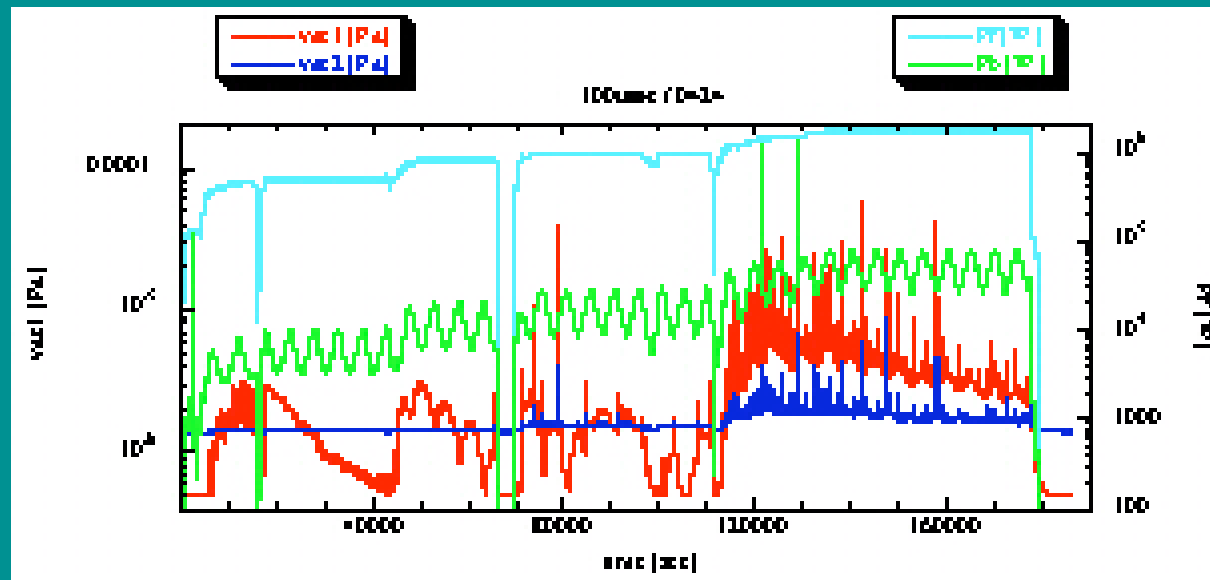


40 μ sec/5Hz

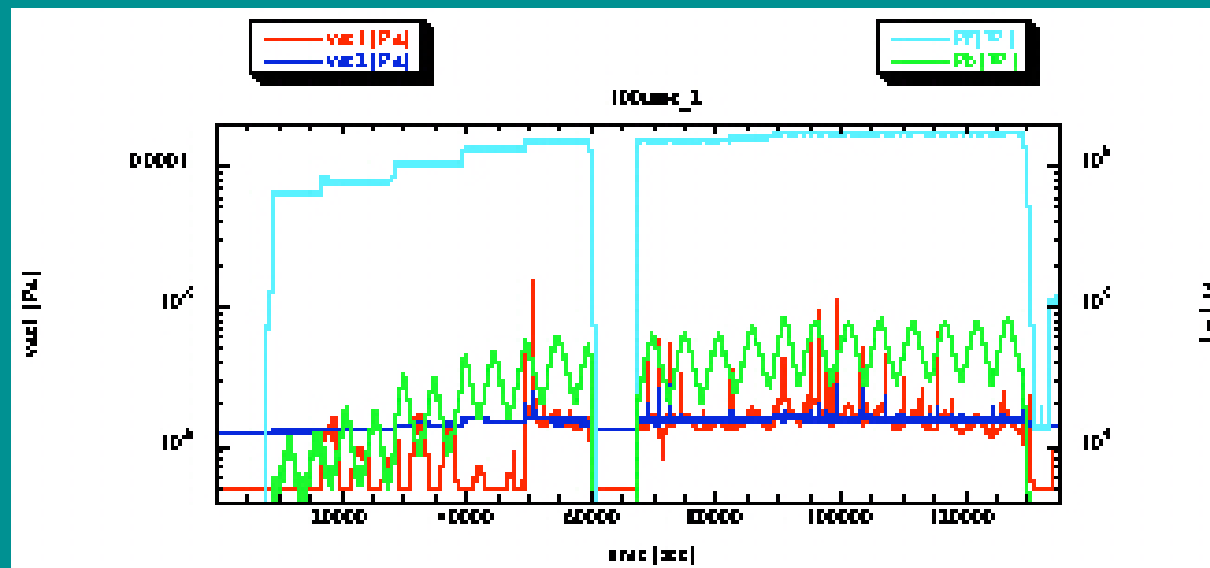


1.7MWまで、トータル2時間

100 μ sec/5Hz

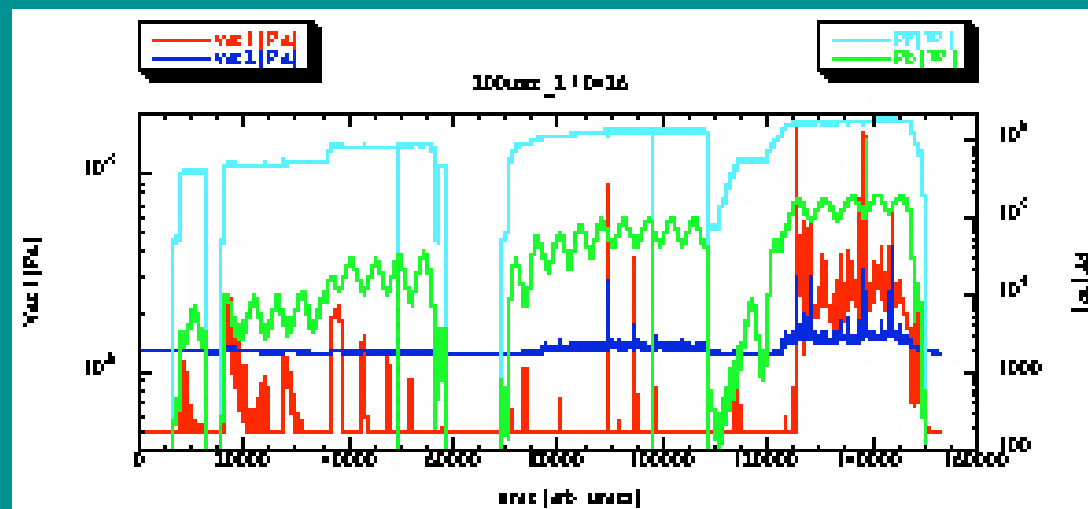
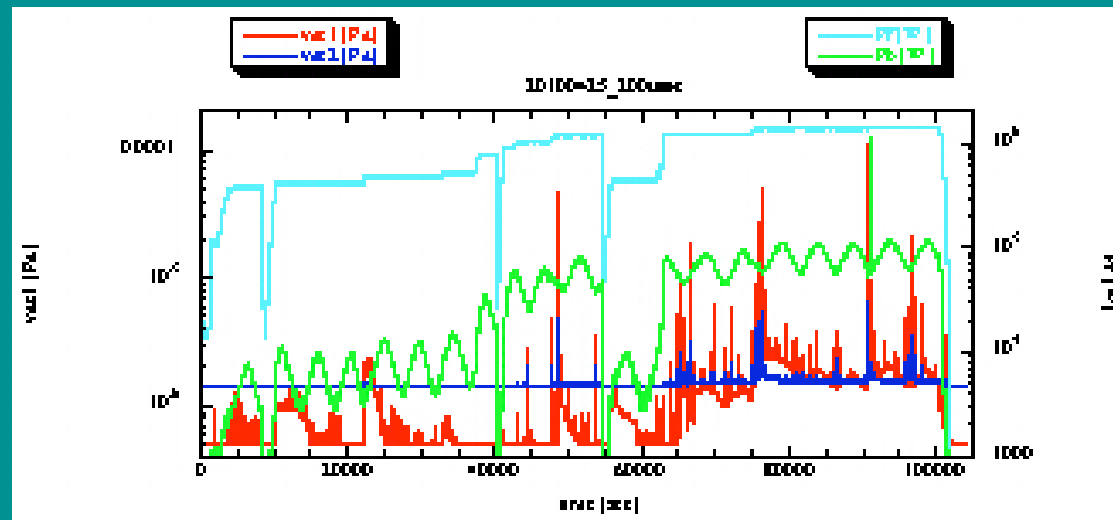


8時間



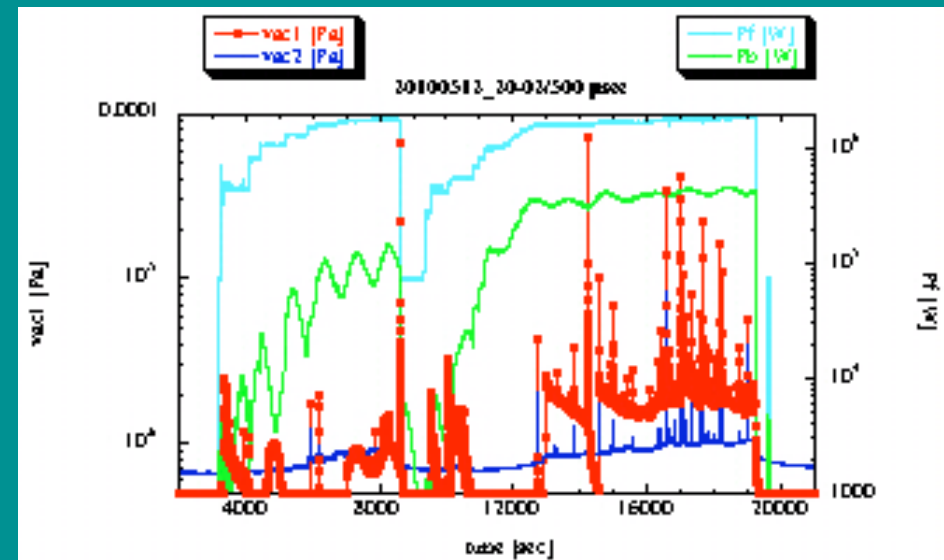
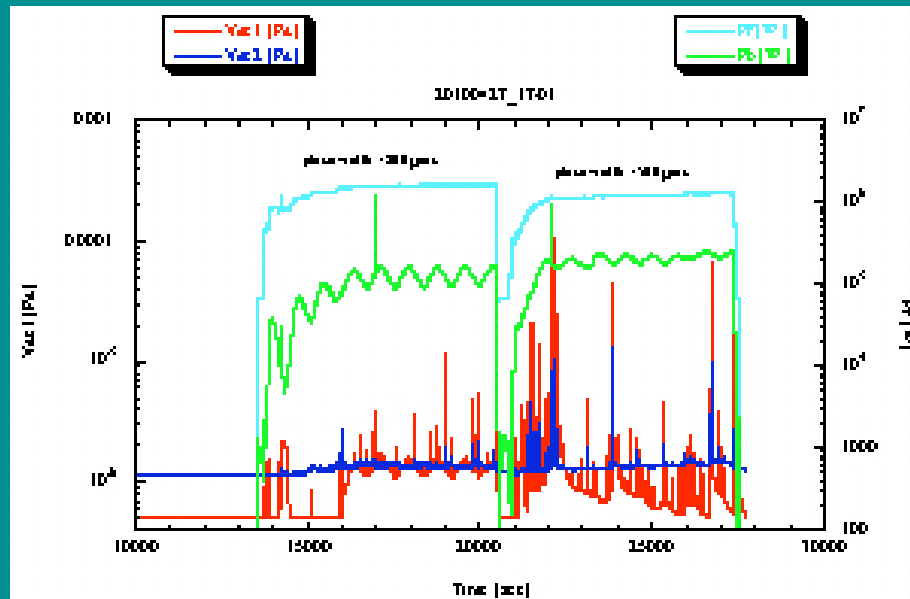
11時間

200 μ sec/5Hz



5+3+1=9時間

500 μ sec/5Hz

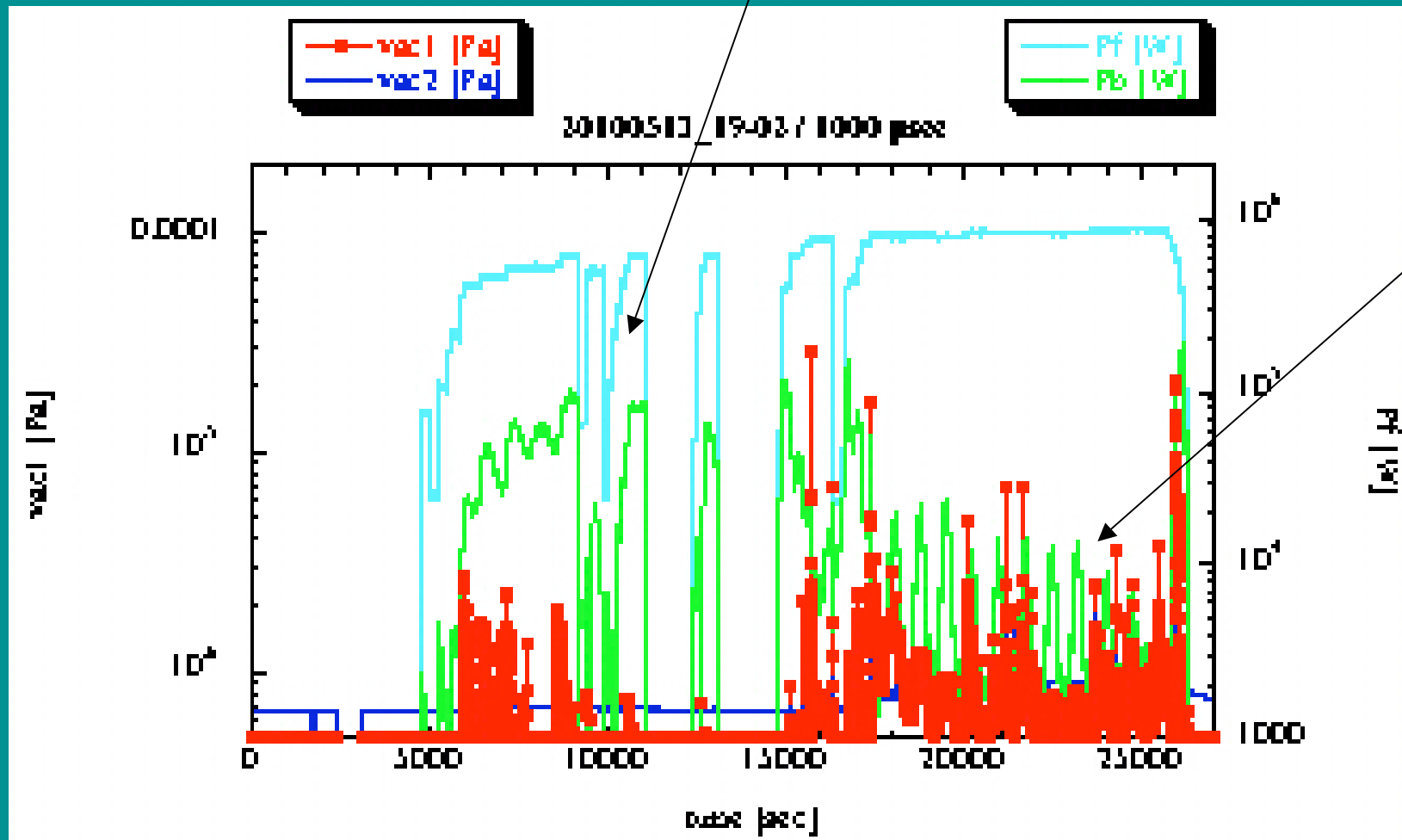


3.5 + 2.5 = 6時間

パワーが大きいところで
反射大

1000 μ sec/5Hz

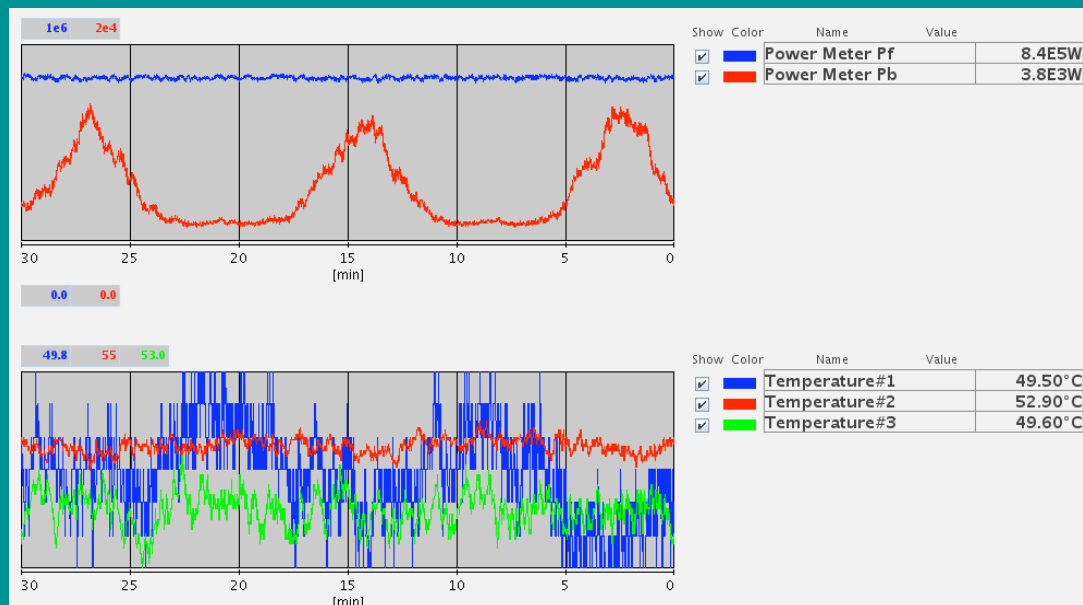
Pb/Pf比=10%以上 (51.5℃)



数%
以下
49.5℃

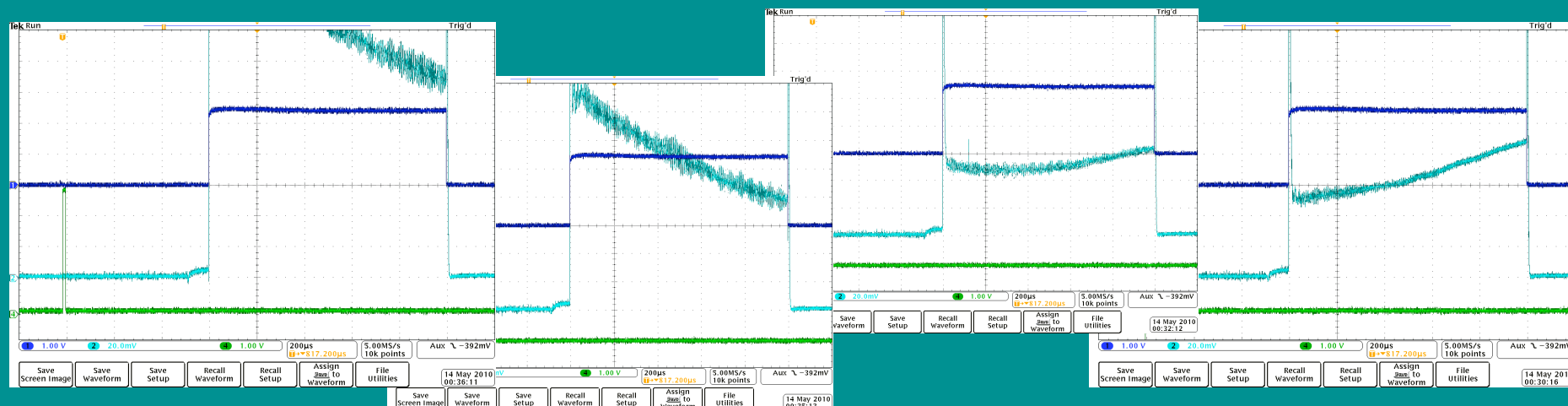
昨夜のプロセス
880kW/1000 μ sec/5Hz

プロセスのまとめは次回で



Pb/Pf比=1~0.2%

チラー温度 49.5°C



※) この後でチラーの調整をし、 $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ 以下の変動にした



参考；RF空洞のカソード側の外面